

海外

ポケモンの世界大会、今年はハワイで開催

2024年8月16日から18日（現地時間）、ポケモンバトルの世界一を決める「ポケモンワールドチャンピオンシップス2024」が、ハワイで開催されました。今回で19回目を迎えたこの大会には、50以上の国と地域から3000人を超える選手が参加。選手数は昨年2000人以上から大幅に増え、観客を含めた総来場者数は13000人に達しています。

開会式ではフラダンスが披露されるなど、ハワイならではの演出が注目を浴びました。各部門の優勝者は、ビデオゲーム部門（マスター）がイタリア、カードゲーム部門（マスター）がチリ、『Pokémon GO』部門が香港、『ポケモンユナイト』部門が日本と、世界各地を代表する選手が頂点に立ったこととなります。また、10月30日リリース予定の『Pokémon Trading Card Game Pocket』の体験会も実施され、子どもから大人まで幅広い年齢層が楽しむ姿が見られました。次回2025年度の開催予定地はアナハイムとなっており、さらなる盛り上がりが見込まれます。



台湾プロ野球のオールスターゲームにポケモン登場

2024年7月20日と21日、台湾プロ野球（CPBL）のオールスターゲームと『Pokémon GO』のタイアップが、『Pokémon GO』を共同開発しているNiantic, Inc.の協力のもと実現。台湾で最も人気のあるスポーツとされる野球の祭典には、2日間で約6万人もの観客が訪れ、オールスターゲーム史上最多の動員数を記録しました。

会場では、ピカチュウやイーブイがグラウンドに登場。さまざまな限定アクティビティも用意され、配布されたポケモンのサンバイザーを身につけた多くの観客が参加して観戦する光景が見られました。スタジアム全体がポケモン一色に染まる中、ゲーム内イベントやミスタードーナツとのタイアップ商品販売なども実施。老若男女を問わず幅広い年齢層の観客に楽しまれたこのイベントは、野球ファンのみならずゲームファンの間でも大きな反響を呼ぶ結果となりました。



「のと鉄道 POKÉMON with YOU トレイン」運行開始

2024年8月1日、「のと鉄道 POKÉMON with YOU トレイン」の運行が始まりました。この取り組みは、令和6年能登半島地震で被災した子どもたちを笑顔にしたいという、のと鉄道とポケモン双方の強い想いから実現しました。出発式には多くの地元の子どもたちが集まり、ポケモンでラッピングされた電車で歓声が上がりました。この列車をきっかけに初めてのと鉄道に乗車したという人もおり、地元の方々から温かく受け止められています。

一般財団法人ポケモン・ウィズ・ユー財団と石川県は、2024年7月17日に包括連携協定を締結。被災した子どもたちを元気づける活動のほか、伝統工芸や県産品の普及、観光振興、地域コミュニティの再建など、両者で協力しつつ、さまざまな分野で連携して取り組んでまいります。

長崎県・沖縄県と連携協定締結

株式会社ポケモンは、2024年6月に長崎県と、8月に沖縄県と連携協定を締結しました。本連携協定は「ポケモンローカルActs」の一環であり、各自治体と連携しながら、地域とポケモン双方の魅力発信とファン増加を目指すものです。

長崎県では、日本有数の灯台にちなみ、しっぽの光が遠く離れた場所まで届くことから、デンリュウが長崎の魅力を発信する推しポケモンに就任。文明堂総本店のカステラ、路面電車やバスなどの交通機関に、デンリュウが登場しました。一方、沖縄県では、雄大な自然と守り神シーサーの文化にちなみ、勇敢で頼もしいガーディが推しポケモンとなりました。かりゆしや沖縄の陶器「やちむん」など、沖縄ならではの名産品に加え、公共交通機関にもガーディが登場。今後も引き続き、推しポケモンを中心に両県を盛り上げる活動を展開予定です。

『Pokémon Sleep』1周年記念イベント・健康調査について

2024年7月20日、睡眠ゲームアプリ『Pokémon Sleep』は1周年を迎えました。これを記念して、グランドハイアット東京（東京都港区）とコラボレーションし、『Pokémon Sleep』の世界観が楽しめる特別なステイプランを9月1日まで実施。同時に、アプリ内の食べ物からインスパイアされたスイーツなども登場しました。

また、AI食事管理アプリ『あすけん』の開発・運営を担う株式会社asken、世界トップレベルの睡眠研究所である「筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構（IIIS）」と合同で、睡眠についての大規模調査を実施。『Pokémon Sleep』利用者の約45%の睡眠時間が伸びたこと、睡眠とダイエット効果の関係性、特定の栄養素摂取による睡眠の質・時間、寝つきの改善などが、現時点で発表されています。*



*『Pokémon Sleep』を90日間以上継続利用し、並行して食事管理アプリ『あすけん』で一定以上の日数・条件で体重を記録した、約2000人を対象に実施

国内

本シートは主に報道関係の皆様に向け、ポケモンブランドの概要をまとめた資料です。



ビデオゲーム

ビデオゲーム『ポケットモンスター』シリーズ

ポケモンの原点である『ポケットモンスター 赤・緑』の、ポケモンを捕まえ・育て・集め・対戦する、4つの要素はそのままに、最新作の『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』では、シリーズ初のオープンワールドを冒険することができます。

他にも、『名探偵ピカチュウ』など、『ポケットモンスター』シリーズとは違った世界観を楽しむことができる作品も存在します。

全ポケモン関連ゲームソフトの累計出荷本数 4億8000万本以上／対応言語数
(『ポケットモンスター』シリーズ) 9言語 (2024年3月末現在)

『ポケットモンスター スカーレット・バイオレット』 日本ゲーム大賞「ベストセールス賞」「優秀賞」受賞 (2023年9月)



カードゲーム

ポケモンカードゲーム

ビデオゲーム『ポケットモンスター』シリーズの世界観をテーマにしたトレーディングカードゲームであり、1996年10月に販売が開始されました。ビデオゲームと同様の「収集」「対戦」「交換」を、カードで楽しめます。

「ポケモンカードゲーム スカーレット&バイオレットシリーズ」では、ビデオゲーム最新作に登場するポケモンたちも大活躍。魅力的なイラストによるコレクション性ばかりでなく、集めたカードの組み合わせを考えて対戦する戦略性や相手との心理的な駆け引きも醍醐味です。

累計製造枚数 648億枚以上／販売言語数(実績) 15言語／販売地域数(実績)
93の国と地域 (2024年3月末現在)



映像

テレビアニメ「ポケットモンスター」

2023年春より放送が開始された、新シリーズです。不思議なペンダントを持つパルデア地方出身の少女・リコと謎のモンスターボールを持つカントー地方出身の少年・ロイの2人の主人公が、冒険を通じて大事な何かを「見つける」物語です。

「ポケモン Kids TV」／「Pokémon Kids TV」

ポケモンの歌や世界の童謡、英語や知育系動画など、お子様向けのコンテンツを中心に配信する、ポケモンの公式YouTubeチャンネルです。

その他

Netflixシリーズ「ポケモンコンシェルジュ」 〈制作：ドワーフスタジオ(株式会社FIELD MANAGEMENT EXPAND) 配信先：Netflix〉

「ポケモンたちとの甘い冬」など 〈制作：日食記(中国の映像クリエイターチーム) 配信先：YouTube〉

「ただいま(良辰有夢)」 〈制作：寒木春華(中国のアニメスタジオ) 配信先：bilibili・YouTube〉

テレビアニメ放送地域数(実績) 192の国と地域 (2024年3月末現在)

「Pokémon Kids TV」 YouTubeチャンネル登録者1000万人達成「ダイヤモンドクリエイターアワード」受賞 (2023年12月)



アプリゲーム など

『Pokémon GO』

GPSを活用し、ポケモンの冒険の舞台を現実世界に広げた、位置情報ゲーム。「Pokémon GO Fest」をはじめ、リアルイベントも数多く開催されています。

開発・提供：Niantic, Inc. 株式会社ポケモン

『ポケモンマスタース EX』

歴代の『ポケットモンスター』シリーズに登場したトレーナーたちと、3対3のチームバトルを楽しむことができるアプリゲームです。バトルの他にも、様々な地方のトレーナー同士の交流を楽しむこともできます。

開発・提供：株式会社ディー・エヌ・エー 株式会社ポケモン

『ポケモンスマイル』

ポケモンといっしょに楽しく歯みがきができる、完全無料アプリゲーム。上手に歯みがきができると、ゲーム内の「むしばきん」を倒して、ポケモンを捕まえることができます。毎日少しずつ遊ぶことで、子どもの歯みがきの習慣化を楽しくサポートします。

開発・販売：株式会社ポケモン

『ようこそ! ポケモンカフェ~まぜまぜパズル~』

“まぜて、つなげて、消しまくる”パズルゲーム。「ポケモンカフェ」の店長となり、ポケモンといっしょにパズルで料理やドリンクを作り、来店するポケモンたちをおもてなしします。

開発：株式会社ジニアス・ソノリティ 発売・販売：株式会社ポケモン

『Pokémon Sleep』 「Google Play ベスト オブ 2023」3部門で大賞
・ユーザー投票部門 ゲームカテゴリ (日本) 大賞
・キュート & カジュアル部門 (日本) 大賞
・Best Game for Good (米国) 大賞 (2023年11月)

『ポケモンユナイト』

5人一組のプレイヤーが、さまざまな戦略を立て、連携したりしながら、時間内に相手ゴールを目指して得点を競い合う、チーム戦略バトルゲームです。eSportsとしての認知も広がっており、Nintendo Switchとスマートフォンの両方に対応しています。
開発：Tencent 発売・販売：株式会社ポケモン

『Pokémon Sleep』

スマートフォンを枕元に置くだけで、睡眠を計測・記録・分析しポケモンの寝顔を集める、睡眠ゲームアプリです。自分の睡眠状態を記録することで、十分な時間・規則正しく寝ることの意識付けが図れ、睡眠リズムを整えるきっかけとなります。
開発：SELECT BUTTON 販売：株式会社ポケモン

『ポケモンフレンド』

ポケモンのこども向けアーケードゲーム。ビデオゲームよりもシンプルなルール設定や、ボタンを叩くなどのわかりやすい操作性、ポケモンが描かれた配出物が手に入るなど、未就学児でも、ポケモンの世界観を楽しむことができます。2007年にスタートし、第5弾となる今作からは新たにタッチパネルを導入。2024年7月より、ポケモンセンターや商業施設などで稼働開始。
プレイ料金：100円+フレンドピック払い出し1枚100円/最大1プレイ600円(すべて税込)
開発：マーベラス 運営：タカラトミーアーツ



オフィシャルショップ

出店状況：日本国内 22店舗/日本国外 2店舗（台湾・シンガポール）
商品種数：約2500種類（「ポケモンセンター」）（2024年3月末現在）

ゲームソフト・カードゲーム・オリジナルグッズに加え、ファンにうれしいサービスなども豊富な「ポケモンセンター」や、人気のグッズを中心にラインナップしたカジュアルショップ「ポケモンストア」を展開中。ポケモンの世界観の中でお買い物を楽しめることから、世界中から多くのお客様がいらしており、一部国内店舗では免税利用率が20%を超えています。



ライセンス

さまざまな分野でのコラボレーションを実現し、魅力的な商品やサービスを創出することで、1人でも多くの方に向けて、ポケモンとの新たな出会いをご提供していきます。

主なお取引先

伊藤園、サンヨー食品、資生堂、小学館、ソフトバンク、第一屋製パン、タカラトミー、ダスキン、日本生命、日本マクドナルド、パンダイナミックホールディングス、ファーストリテイリング、ファミリーマート、P & G、丸美屋、森永製菓、ユニ・チャーム、読売新聞東京本社、ロッテなど（五十音順）

直近の注目事例：ポケモン課外授業in志摩スペイン村

ビデオゲーム『ポケットモンスター』シリーズでは、主人公はポケモンとともにさまざまな地方を冒険します。今回の取り組みは、三重県志摩市の複合リゾート、志摩スペイン村に寄せられた、「ポケモンのビデオゲーム最新作の風景が似ている」というお客様の声から始まりました。ゲームの世界観を思わせるフォトスポットやオリジナルメニューなどを、お楽しみいただけます。

（開催期間：2024年6月29日(土)～9月23日(月・振休)）



その他の取り組み

ピカチュージェット運行中の航空会社
ANA / ガルーダインドネシア / スカイマーク / スクート / チャイナエアライン /
ティエウェイ（五十音順）

「ポケモンローカルActs」連携協定締結先の道県
北海道 / 岩手県 / 宮城県 / 福島県 / 福井県 / 三重県 / 鳥取県 / 香川県 / 長崎県 / 宮
崎県 / 沖縄県

そらとぶピカチュウプロジェクト

「そらとぶピカチュウプロジェクト」は、人と人、人と地域をつなぐことで、旅の楽しみをお届けします。その象徴として、「ピカチュージェット」が就航、現在は6つの航空会社で8機が運航しています。

ポケモンローカルActs

日本全国の地方自治体と連携し、地域ごとに「推しポケモン」を選定。各地の魅力と一匹一匹のポケモンの魅力を国内外に同時発信することで、ポケモンファンに各地へ足を運んでいただくことを目指す取り組みです。特産品・伝統工芸品や交通機関とのコラボレーション、ポケモン公園やポケふたの設置などを推進しています。（現在11道県と協定を締結）

一般財団法人 ポケモン・ウィズ・ユア財団

2011年、弊社の有志社員を中心に、被災地のこどもたちを支援する活動「POKÉMON with YOU」が発足。2021年、ポケモンらしい社会貢献を持続的に拡大するために、ポケモン・ウィズ・ユア財団を設立しました。活動領域も広がり、こどもの災害対策支援・こども食堂の支援・ICT教育支援・ポケモンスカラシップの運営などを推進しています。

ポケモンワールドチャンピオンシップス

2004年にカードゲームの世界大会として始まった「ポケモンワールドチャンピオンシップス」。現在は、ビデオゲーム・『ポケモンユナイト』・『Pokémon GO』部門も追加され、毎年、世界各地の予選を勝ち抜いたプレイヤーが会場。言語の壁を越えた対戦や、コミュニケーションの場となっています。まさにポケモンが世界をつないでいるかのような本大会は、長らく欧米で開催されてきましたが、18回目となる2023年に初めて日本で開催されました。2024年にはハワイで開催され、50以上の国と地域からプレイヤーが会場。ホノルルの会場には、選手と観客合わせて13000人以上が来場しました。

2024年にハワイで開催された、「ポケモンワールドチャンピオンシップス」の様子



POKÉMON



ポケットモンスター、略してポケモンは、たくさんの謎を秘めたふしぎな生き物。これまでに1000種以上が発見されており、その生態は非常に個性豊かです。

始まりは、1996年に株式会社ゲームフリークが開発、任天堂株式会社より発売された1対のゲームソフト『ポケットモンスター 赤・緑』で、後に株式会社クリーチャーズが企画・開発したポケモンカードゲームへと続きました。

捕まえて育てる「コレクション性」や、友達同士で交換や対戦をする「コミュニケーション性」などの遊びの要素が詰まったポケモンは、テレビアニメ・映画・アプリ・グッズなど幅広く展開され、グローバルな人気を得ています。